

Lゼミ×新潟労働局

「学ぶ側」から 「広める側」へ！

～学生参加型のワークルール 教育プロジェクト～



ワーク博士



りーこちゃん

●アイデアの理由

厚生労働白書（令和7年版）によると、若者が社会保障制度や働くときのルールを知る際に利用したい手段として、インターネット（68.4%）やSNS（56.5%）が高い一方、「SNSの情報が正しいかわからない」と不安を感じる者は54.9%に達している。

特にインターネットやSNSを利用したい若者の90.6%が情報の信頼性に不安を抱えており、正確な公的情報にたどり着けていない現状がある。

労働トラブル件数は高止まりしている中、若者が一人で抱え込んでしまう状況やトラブルの長期化を防ぐためにも、信頼性の高い情報へと自然につながることでできる導線を再設計することが不可欠である。

●実現までのプロセス

①出張先での授業のアンケート結果を踏まえ、新潟労働局監修のもと、内容のさらなるブラッシュアップを継続

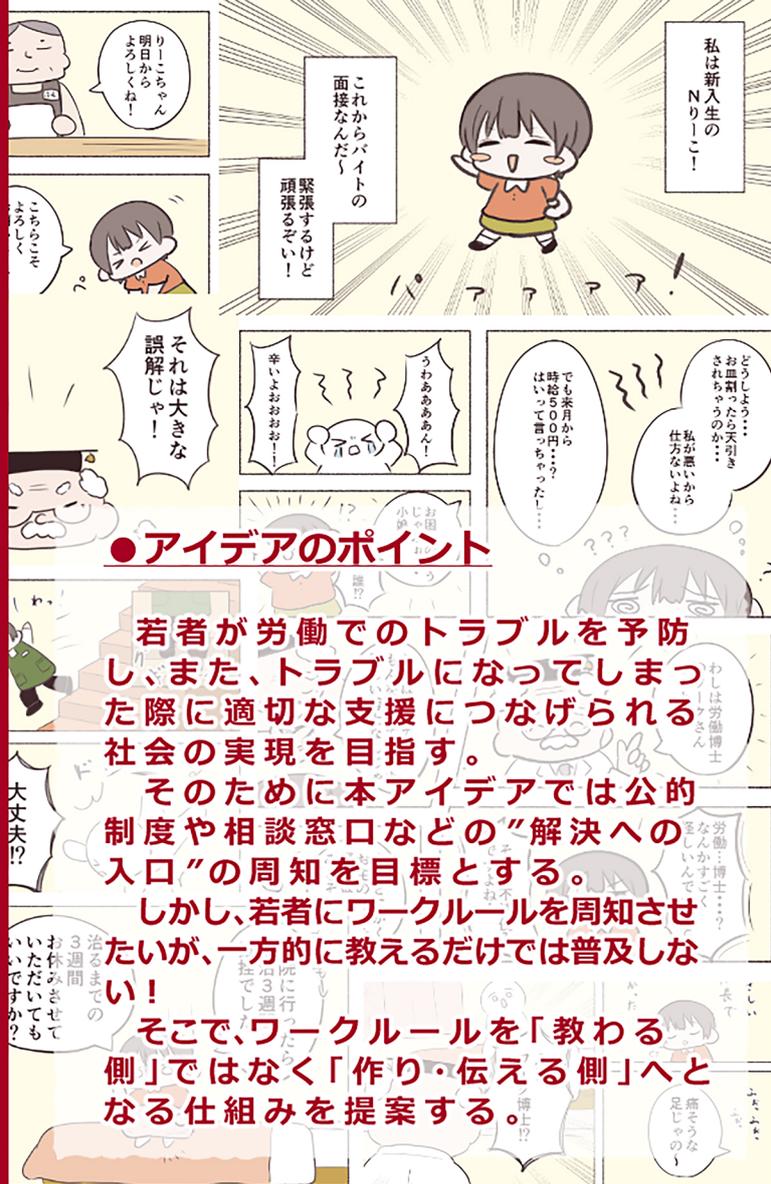
②他の学校と協創での授業制作および実施

→様々な分野の専門学生（声優、IT、留学生など）を制作プロセスに巻き込み共同で授業を作成する。

③「りーこちゃんシリーズ」のフリー教材化

→Lゼミが制作した「りーこちゃんシリーズ」の教材（パワーポイント・原稿）を、新潟労働局のホームページにフリー素材として公開する。

将来的には、厚生労働省に提案の上、全国の労働局と地域の学生が連携する取り組みとして展開し、ワークルールの広範な普及を目指していく。



●アイデアのポイント

若者が労働でのトラブルを予防し、また、トラブルになってしまった際に適切な支援につなげられる社会の実現を目指す。

そのために本アイデアでは公的の制度や相談窓口などの「解決への入口」の周知を目標とする。

しかし、若者にワークルールを周知させたいが、一方的に教えるだけでは普及しない！

そこで、ワークルールを「教わる側」ではなく「作り・伝える側」へとなる仕組みを提案する。